

第3回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（南下浦地区）会議録

○日 時 令和3年11月4日（木） 19時05分～19時55分

○場 所 南下浦市民センター 講堂

○次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 意見交換

意見交換1 令和2年度から3年度の経過と今後の地域協議について

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（10名）

座長	市川 昌樹	座長職務代理者	五十嵐 徹	委員	宮坂 和彦
委員	鈴木 隆之	委員	石井 宏明	委員	水越 翔野
委員	加藤 貴之	委員	藤崎 誠三	委員	武内 千恵子
委員	中澤 謙介				

○欠席委員（2名）

委員	高橋 伸昌	委員	中原 慎一
----	-------	----	-------

○事務局（6名）

増井 直樹	教育部長	塚本 孝治	教育総務課長
高梨 真一	学校教育課長	矢尾板 昌克	政策部政策課長
ソリバン 薫	教育環境担当課長	長島 正紀	教育総務課 GL

◇ 19時05分 開会 ◇

◇座長　　こんばんは、昨年の12月の開催以来となりますが、ただいまより「南下浦地区の三浦市学校教育ビジョン地域協議会」を開催いたします。

本日、高橋委員、中原委員より欠席の連絡がございましたので、ご報告申し上げます。

◇座長　　それでは早速ですが、本日の協議内容として、令和2年度から3年度の経過と今後の地域協議について、意見交換をしたいと思います。

はじめに、三浦市学校教育ビジョンに関する経過について、事務局より説明がありますのでお願いします。

◇事務局　　本日の地域協議会につきましては、今年度最初の対面による会議となります。約1年ぶりとなりますが、地域協議会については引き続きコロナの感染状況を注視しながら進めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

では早速ですが、資料の1をご覧くださいと思います。7月の書面会議でも、これまでの経過については資料配布させていただいておりますが、別紙1はその配布資料と同じものです。この2つの資料で説明をしていきたいと思っております。

まずは資料1の令和3年3月の総合教育会議にて、「令和7年度を目途」としていた、1中学校区・1小学校への統廃合は、「令和7年度にとらわれず、慎重に進めていく」旨、方針が示されました。

また、7月の議会では、具体的には保護者や市民の意見を聞く手段として、アンケート調査を実施し、「実情にあった学校体制を検討していく」としました。併せて、「段階的な統合も視野に入れていく」ともしています。

ただ、南下浦地区の地域協議会では、これまでの議論で統合校はどこにしようか、といった段階まで進んでいたと思っております。

今、お話しした経過では、「令和7年度にはとらわれず、段階的、アンケート調査を実施してから」といったように「南下浦地区で1小学校を目指していた」今までの議論は一度立ち止まっていたいただいて、もちろん、コロナ禍による協議の遅れ、市民への説明不足などの反省点もあり、いち度立ち止まるということで、まずは、後ほどご説明いたしますが、ビジョンを見直す上での、アンケート調査の手法や、設問について地域協議会のご意見をいただきたく、ご協力をお願いしたいと考えています。

また、もうひとつの重要課題としては、教育委員会が考える教育に関する課題のほか、学校教育以外の課題については、市として対応する課題として、「市内検討班を中心として検討を進めていく」としています。これまでの意見交換でも通学の問題について、長距離になることや、費用の問題についても、まとめていきたい考えであります。

そのほか、資料1の中では、陳情書と反対署名について記載しておりますが、市内全域の反対署名は、5,748名となっており、そのほか公開質問状なども提出がされており、質問と回答については三浦市ホームページで公開しておりますので、ご確認いただきたいと思っております。

報告は以上となります。

◇座長 ただいまの報告について、何かご質問等ございますか。

◇委員 反対の署名についてですが、合計で 5,748 名となっていますが、重複している方はいませんか。

◇事務局 重複は確認しておりません。

なお、南下浦地区の署名は 1,010 名となっており、その中で南下浦地区にお住まいの方は 6 割程度、その他は三崎地区、初声地区や市外の方となっております。また、判断能力のない乳幼児期のお子さんも含まれていると思われます。

◇委員 そうしますと反対の署名があったことは事実ですが、三浦市民としての純粋な数字ではないと捉えることができますね。

◇事務局 約 6,000 名という大きな数字であります、ひとつのご意見として受け止めております。

◇委員 保護者同士のつながりもあるので重複していたり、署名の重要性まで考えずにお願いされて書いている方もいらっしゃるのではないかと思います。

◇座長 一度立ち止まってということですので、アンケートの結果を見ながら、「令和 7 年度を目途」にはとらわれないことと「段階的統廃合も視野」という新しいことも出てきておりますので、そのことを踏まえて我々の意見を教育委員会に出していくために、協議を進めていきたいと思っております。

◇委員 この中には昨年度から引き続いて委員等をやっていただいている方がいて、皆さんお忙しいところ来ていただいて、昨年度には統合校について、発言したくないようなことも発言して 1 校ずつ検討していました。反対署名が提出されて振り出しに戻ってしまったので、教育委員会としてしっかり方向性を持って取り組んでいただきたいです。

◇事務局 委員の皆さんには、子どものためにいろいろなご意見をいただきました。

教育委員会で考える「1 中学校区 1 小学校の学校体制」について課題はあるが、基本的には必要ではないか、という皆さんのお考えは一致しておりました。

そして具体的に検討を始めていただいたのですが、議会等でも意見、要望をいただきまして、もう一度保護者等のご意見を聞いた後に再出発すべきと。いままでのご議論は決して無駄ではないと思っていますし、今後の検討の中で役立っていくものだと思いますので、アンケートを取らせていただいて、もう一度保護者の方のご意見を聞いて進めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

◇委員 完全にリセットという考えなのか。例えば今後議論が進んでいく中で、これまで協議会で議論してきたことは、これから先考えていくこととそんなに外れたことはな

かったと思っています。場合によっては少し戻ってくることもあるのかと考えていましたが、完全にリセットされるとなると最初から議論のし直しなのか違うのか。いったん立ち止まるという意味をもう一度皆さんの中で共有しておいたほうがいいのではないかと思います。

◇事務局　いったん立ち止まるということは、今までの議論を白紙にするわけではありません。学校教育ビジョンで掲げている「1学年複数学級」を目指すとしている基本的な骨格は変わっていないと考えています。

今回アンケート調査を実施して、もう一度意見をお聞きし、その結果「統廃合しなくてよい」となった場合は別のことも考えなければならぬと思いますが、いったん立ち止まるということは、少し変わる可能性があるをご認識いただければと思います。

◇座長　アンケートを実施して、その結果を教育委員会で判断し、その方針に基づいて我々は協議を進めていくことになると思います。

ただし、南下浦地区の状況を見て次の4月から統合しようとはできなくて、三崎中学校と上原中学校の統合の時には準備に何年間か時間をかけてますし、統合して完璧に問題もなく、とはいかないわけです。

そのようなことを考えながら、令和6年度の剣崎小学校の1年生が7名、令和8年度の1年生が4名という見通しがあります。こういったことから令和6年度に統合ということであれば、今から統合した学校はどのように学校経営を行っていくのか、といった準備を学校側はしていかなければならない、というスケジュール感を持っていないと思います。4名の保護者がどういった気持ちで学校に送っていくか。現在の状況でも一生懸命やってくれますし、教員も与えられた状況で全力を尽くすことは間違いありません。ただし男子3名、女子1名という現実があった場合に、どういう判断がなされるか。そのような気持ちに我々が寄り添っていくと統合という判断に同意をしてきたわけですが、時には統合しなくても、という議論も出ながら進めてきましたので、今までの議論は無駄にしないように続けていくことになると思っています。

アンケートの結果も踏まえて、というところも考えながらになるかと思っています。

◇委員　反対の署名をされた方は「令和7年度を目途」を「令和7年度に小学校を市内で3校にする」と解釈している方もいるのではないかと思いますので、いま座長がおっしゃったような説明を、アンケートを実施する際には、段階的統合も視野にあるなど分かりやすい説明も入れていただいたほうがいいのかと思います。

◇座長　それではアンケートの話も出ましたので、三浦市学校教育ビジョンに関するアンケート（素案）について、併せて今後のスケジュールを一括で事務局より説明をお願いします。

◇事務局　アンケートの概要については、資料2をご覧ください。

小学生のお子さんがある保護者と未就学児の保護者向けのアンケートとしています。

これと併せて、後ほど説明しますが、教職員向けのアンケートを合算すると約 2,600 名を対象としたものになります。

今回の地域協議会では、アンケート設問のたたき台を示したいと思っております。

それまでなかなかイメージがわからないとも思いますが、ご協力をお願いしたいと思います。

アンケートは、大きく教職員向けと、保護者向けに分けて実施します。

教職員向けのアンケートは先に進めておりまして、教育委員会が教職員の意見を聞く位置づけが強いていると考えていますが、地域協議会にもお示ししていきたいと考えています。

次に保護者向けのアンケートにつきましては、地域協議会の皆さんの意見をまとめ、反映させていきたいと考えております。

スケジュール的には、教職員アンケートについては年内には実施したいと考えておりますが遅くなる場合もあります。

保護者向けアンケートについては、年度内に集計まで終了する場合の想定でスケジュールを記載してございますが、こちらも変わる場合がございます。

おおまかなスケジュールは資料3のとおりとなっております。ここに地域協議会にお願いすることとして4つ記載しておりますが、本日ご説明してきた内容のとおりでございますのでよろしくお願ひします。

説明は以上になります。

◇座長 説明が終わりましたがご質問等ございますか。

◇委員 三浦市立小中学校に勤務する教職員とありますが、事務職員、非常勤、臨時的任用職員と様々あるのですが対象はどこまでになりますか。

◇事務局 想定していますのは教員、養護教諭、臨時的任用職員、管理職、そして非常勤でも免許を持って子どもに接している方を考えております。

◇委員 アンケートには教育論が出てくると思うのですが、財政的なこと、例えば通学路などですが、そうしますと事務職員の方ですと教員では気が付きにくい点にもご意見いただけるのかなと思われましたので。

◇事務局 今回行うアンケートについては、「教育の在り方」について、をお聞きしようと考えております。例えば「生きる力を育むためにはどうすればよいか」など教育の内容または教員の資質の向上に関わることを考えております。

◇委員 資料3のスケジュールで、令和4年3月に結果公表とありますが、年度内には公表したいということですか。

◇事務局 事務局としては、資料に記載のようにスケジュールをお示ししましたが、地域協議会の議論をしていただく中で資料のとおりに進まない場合も考えられますので、

必ず年度内に公表まで終わらせるということではございません。

◇座長 その他にございますか。

◇事務局 今週月曜日に三崎地区の地域協議会を開催しており、同じように説明をしております。その中でアンケートについて「一般市民向けはやらないのか」とご質問がありました。そのお答えとして、一般市民向けは令和4年度に無作為抽出により実施するために準備をしている旨お話ししました。

これは予算に関わってくるものですので、確定的なことはまだ申し上げられませんが、一般市民向けも実施するために準備をしていますので共通認識をお持ちいただければと思います。

◇事務局 三崎地区の協議会では、一般市民向けのアンケートも同時に実施、というご意見もありましたが、その他の委員さんの大勢としては教職員、保護者のアンケートを先に実施して、その後に市民（地域の）向けのアンケートを実施したほうがよい。というご意見がありました。

◇座長 いまの説明について何かありますか。

◇委員 いまの話を聞いてなのですが、委員さんの中に反対の意見をお持ちの方がいるのですかね。

◇事務局 そこまでのことは分かりませんが、地域にとっても大事なことなので地域の声を聞き、より慎重に考えるべきだという意見があるのは確かです。

◇委員 アンケートを実施する前に署名が出ていたり、まちづくりの会から要望が出た際には回答もしてくれてると思うのですが、それ以外に何か一市民の方から意見は来ているのですか。

◇事務局 市、教育委員会に対して、統廃合のことや学校教育ビジョンについては一部にあったと思いますが、賛成であるとか反対であるなどのご意見はいただいております。

◇事務局 電話で「一日でも早く統廃合してください」というお叱りを受けたことはあります。

◇委員 アンケートの件ですけれど、教員と保護者向けにアンケートを実施して、その後一般市民向けのアンケートを実施すると伺いましたが、確認ですがよろしいですか。

◇事務局 まずは保護者の方の意見を把握したい。保護者の方のアンケートと地域の方

へのアンケートの内容については違うものになるのかと考えておりますので、保護者の方のアンケートを実施した後に地域協議会でご意見をお聞きして、地域の方へのアンケートを考えたいと思っています。

◇委員 タイムラグがどの程度になるか分かりませんが、反対についての署名が出されていることを考えますと、地域の方のほうが保護者の方より絶対数が多いと思うんです。保護者の意見をいただいて、結果はどのようになるか分かりませんが、その後に地域の方の意見をいただいて、保護者の意見と反対の意見になりますと、またリセットされて今回と同じようになってしまうのであれば、1回で済ませたほうがいいとも思うのですが。

◇事務局 学校教育ビジョンにつきましては、保護者の方の意見とアンケートを実施した場合には地域の方の意見も伺って見直しをすることになります。

◇委員 なるべく、保護者の方の意見と地域の方の意見が聞けるのが、日程的に近いほうがいいのではないかと考えています。

◇事務局 ただいまのご意見につきましても、次回の協議会でのご意見をお聞きしながら検討して参りたいと思います。

◇委員 実際、大きく影響してくる方は、未就学のお子さんを持つ保護者の方だと思うのですが、地域の方のほうが数が多いと思いますが、これから小学校に入学してくるお子さんをお持ちの保護者の方の意見を優先して考えてあげたい思いがあります。

◇事務局 三崎地区の協議会でも、学校づくりを進めていくうえで、お子さんをお持ちの保護者の気持ちを最大限尊重したい旨、お話しさせていただきました。アンケートにつきましては、小学生のお子さんをお持ちの保護者の方と未就学児のお子さんをお持ちの方全員を予定しております。一般市民の方につきましては、400程度を考えております。

◇委員 私も何を優先すべきかというところ、これから小学校に入るお子さんをお持ちの保護者の声を一番聞いて欲しいと思っています。

市民の方にも温度差があると思ひまして「地域あって」とも思ひますが、どこまで考えていただいて答えてくれるかわからない部分もありますので。

◇委員 保護者の意見も大事なのですが、子ども達がどう思っているかも大事なのではないかと感じています。

◇座長 その他いかがですか。

それではお時間の都合もごございますので、意見交換についてはここまでにしたいと思います。

います。

続いて事務連絡をお願いします。

◇事務局　ご意見ありがとうございました。

ご提案なのですが、次回からアンケート調査の手法や設問について、皆さんのご意見をお聞きすることになりますが、三崎地区と南下浦地区で別々のものではなく、一つのものを作り上げていきますので、三崎地区と南下浦地区の合同での地域協議会を開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

なお、三崎地区の地域協議会では同意いただいております。

◇座長　次回は合同でとの提案ですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◇座長　皆さん同意されているようですので、そのようお願いします。

◇事務局　日程が決まりましたらご連絡差し上げますので、よろしくをお願いします。

◇座長　会議に出席できない場合には、事前にご意見いただけるような配慮もお願いします。

それでは第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会を閉会いたします。委員の皆さま、大変お忙しい中、またお疲れのところをご出席いただきまして、ありがとうございました。

◇ 19時55分 閉会 ◇